

不要なデータがCO₂を排出して環境に悪影響!? 目に見えない環境問題

世界中で一斉に「デジタルごみ」をキレイにしよう!

Digital Cleanup Day 2026

175カ国の
国と地域が参加!



デジタルクリーンアップデー実施期間：2026年3月15日(日)～3月21日(土)

Action 1

- ・ 不要な画像、動画、メール、アプリを削除
- ・ キャッシュデータなど不要なファイルを削除
- ・ 使っていないSNSアカウントを削除など、期間中に実施する。

Action 2

実施後は、[Digital Cleanup Day 特設サイト](#)の
[報告フォーム](#)から報告をお願いします。
(報告締切:2026年3月末まで)



実施により期待できる効果

環境を守る

デバイス最適化

リスク低減

Digital Cleanup Day についての詳細は、[Digital Cleanup Day 特設サイト](#)をご覧ください>>>

【日本の主催・運営】NPO法人WORLD CLEANUP DAY JAPAN お問い合わせ: info@worldcleanupday.jp worldcleanupday.jp



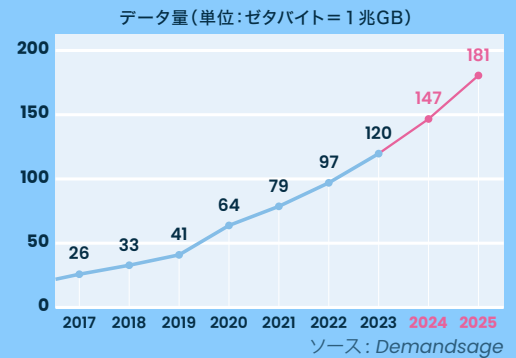
What is Digital Cleanup Day?

WORLD CLEANUP DAY が全世界で一斉にごみを拾って地球環境をきれいにする日であるように、Digital Cleanup Day (デジタルクリーンアップデー) は、**全世界で一斉にデジタルごみを削除してデジタル環境をきれいにする日**です。
個人や企業がデジタルごみに対する認識を高め、デジタルデータを整理整頓することを目的とする世界的な取り組みです。



デジタルごみとは？ 環境にもたらす影響について

デジタルの世界にも、現実世界と同様に、膨大な量のごみがあります。不要なメール、ファイル、アプリ、写真や映像のコピーは、すべてデジタルごみといえます。デジタルごみの算定に当たっては、国際エネルギー機関 (IEA) が示す世界平均のCO₂排出係数を使用しています。それによると、**サーバーなどのデータストレージに4GBのデータを1年間保存すると、約2kWhのエネルギーを消費し、約1kgのCO₂を排出するとされています。**



Digital Cleanup Day による成果

Digital Cleanup Dayが始まった2020年から2025年までに175の国と地域から約172万人が参加しました。

合計約**1,680万ギガバイト**のデータを削除し、
年あたり約**4,200トン**のCO₂の排出を抑制しました。



【企業の取り組み】 株式会社エーアンドエス様の事例

部署や立場を問わず全員で参加できた点が大きな魅力でした。期間を設けて無理のない形で実施し、IT部門と連携して「消してよいデータ」を明確にしたことで、安心して取り組むことができました。不要なデジタルデータが電力を使い、CO₂排出にもつながると知り、社内の意識づけや個人の行動変化につながったと感じています。



サステナビリティ課の皆様(左から阿久津様、川瀬様、明様)

参加方法について

誰でも、どこからでも！

デジタルクリーンアップデー実施期間中【**2026年3月15日(日)～3月21日(土)**】に、お手元のスマートフォン・タブレット・パソコンから不要なデータを削除して、実施後に**Digital Cleanup Day 特設サイトの報告フォーム**から削除したデータ量の報告をお願いします。(報告締切: 2026年3月末まで)
企業・団体様、教育機関様、個人の皆様、どなたでも参加可能です！ 皆様のご参加をお待ちしております！



Digital Cleanup Dayの次は、**9月20日の国連国際デー「WORLD CLEANUP DAY」**です！

昨年、世界中で約2,500万人が参加！



世界中で一斉に地球をキレイにしよう！

WORLD CLEANUP DAY 2026

実施期間: 2026年9月1日(火)～9月30日(水)

